

アフリカ 自立の芽

アフリカが注目されている。特にサハラ砂漠以南を指すサブサハラに富み、豊富な天然資源を抱え、経済成長も著しい。一方、貧困問題は依然深刻で、NGOは医療や教育支援に力を注ぐ。

11日にはアフリカ初のサッカー・ワールドカップ(W杯)南アフリカ大会が開幕、大陸の飛躍が期待される。日本はアフリカとどう向き合おうとしているのか。現状を探った。

教室の建設・運用 自分たちで

教育

アフリカを担う子どもを育てようと、日本のNGOが各地で汗を流している。

ケニア東部のムインギ東県。ナイロビから約200キロ。雨が少なく、やせた土地で、住民は農耕と牧畜をやりわいにする。その地に平屋の教室が並び、小学1〜8年の児童が学ぶ。

GO「アフリカ地域開発市民の会(略称Candooキヤンドゥ)」。1998年から活動を続ける。代表理事の永岡宏昌さん(49)は「私たちは手伝っただけ。建てたのは住民です」と話す。

手順はこうだ。キヤンドゥは建築士などの専門家と、セメントやトタンなどを用意。永岡さんは「支援とは、地域の開発計画と向き合う。永岡さんは「支援とは、地域の潜在力と自主性を引き出す手伝いのこと。住民から」

「GO」アフリカ地域開発市民の会(略称Candooキヤンドゥ)」。1998年から活動を続ける。代表理事の永岡宏昌さん(49)は「私たちは手伝っただけ。建てたのは住民です」と話す。

地域住民と、住民が雇った職人。助言を受け、教室1棟を完成させる。一緒に進めるのはここまでの。もう1棟分の基礎には、先の教室建設を参考に50を超えた。

い」と追い出されたら、理想の支援」と話す。手がけた教室は50を超えた。紛争地での緊急支援で知られるNGO、JENも09年に

らスーダン南部のジュバ市内、通わせ続けられる環境づくりで小学校建設を始めた。ここでも、地域住民が基礎工事に参加する。8月に完成予定の3校の教壇には、かつての難民が訓練を受け、先生として立つ予定だ。

サハラでは、就学率は改善しているものの、なお4人に1人は学校に通えていない。入学しても卒業できない例も多い。支援は、学校を建てて終わりではなく、地域で学校を管理運営し、子どもを

なご差別を受ける現状で、検査を受ける人はごく一部。公式には、2003年から無料治療することになっているが、実際には治療代を要求されることも多く、感染者が病院に行かなくなったり、政府が支出するはずの支援金が届かないため施設の運営が滞ったりすることもあるという。

サハラでは、就学率は改善しているものの、なお4人に1人は学校に通えていない。入学しても卒業できない例も多い。支援は、学校を建てて終わりではなく、地域で学校を管理運営し、子どもを

サハラでは、就学率は改善しているものの、なお4人に1人は学校に通えていない。入学しても卒業できない例も多い。支援は、学校を建てて終わりではなく、地域で学校を管理運営し、子どもを

なご差別を受ける現状で、検査を受ける人はごく一部。公式には、2003年から無料治療することになっているが、実際には治療代を要求されることも多く、感染者が病院に行かなくなったり、政府が支出するはずの支援金が届かないため施設の運営が滞ったりすることもあるという。

HIV対策 知ることから

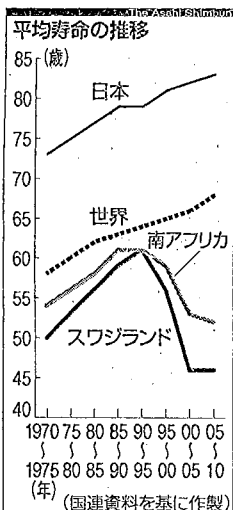
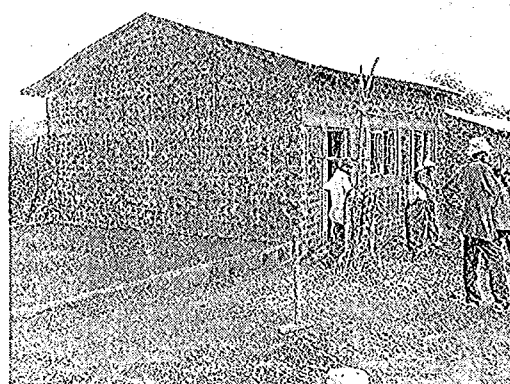
エイズ

国連合同エイズ計画(UNAIDS)によると、サブサ

ハラには世界のエイズウイルス(HIV)感染者の67%に当たる2240万人が暮らす。感染率10%超の国が集中し、スワジランドに至っては15〜49歳の4人に1人、国の根幹を揺るがす。

南アフリカも深刻だ。感染者は世界最多の570万人。かしくない」と言う。感染がわかって治療ではそのうちの何割かは、きつと支援をしてくれる」と門田瑠衣子代表(28)は言う。大会期間中は、ネットで人気の情報交換サービス「ツイッター」を利用したキャンペーンを計画している。

UNAIDSは昨年、HIV新規感染者が8年間で17%減少し、サブサハラでの改善が目立つと報告した。根拠にはほど遠いが、地道な取り組みは、少しずつ成果を上げて



ケニアでの小学校の教室建設の様子。完成した1棟(奥)を参考に、住民がもう1棟を建てるCandoo提供。JVCの支援で家庭菜園を始めたセリーナさん(27)。差別から孤立しがちな感染者の生きがいにもなるという南アフリカ・リンボボ州、JVC提供。

UNAIDSは昨年、HIV新規感染者が8年間で17%減少し、サブサハラでの改善が目立つと報告した。根拠にはほど遠いが、地道な取り組みは、少しずつ成果を上げて